

第19章 off

offは 「その場で動作を 開始する」

offは「その場で動作を開始する」「放つ」、その結果「その場から離れる」「遠ざかる」「姿を消す」ことを意味する。



[1] offは動的に「その場で動作を開始する」

offは「オンーオフ」や「オフをとる」などとカタカナ語にもなつておらず、「離れて」という意味で覚えている方が多いと思います。

もちろん、それでもかまわないので、動的に「その場で動作を開始する」というのがoffの本来の意味です。

ですから、「始める」ことを表す動詞にoffを用いると「その場で何かを始める」ことになります。

例えば、

He **started off** on a walk.

とやると、「彼は散歩に出かけた」ことを意味します。

同じ「その場で」でも、downは先述のように、「静的に今いるところ」「その場で」を表すのに対して、offは「その場で動作を始める」ことを表し、その結果、「動作をその場ですます」ことも意味する場合があります。

「その場で始める」という意味では、サッカーの試合を始めるのは「その場でボールをける」ことから**kick off**を用いるのです。

野球の**play off**が「試合の勝者を決める」という意味になるのも「その場で決着をつける」という本来の意味からなのです。

「決着をつける」という意味では、**pay off**とやると「(借金などを)すっかり返す」ことを意味するのです。(☞p.208 pay upも参照)

You should **pay off** your debts as early as possible.

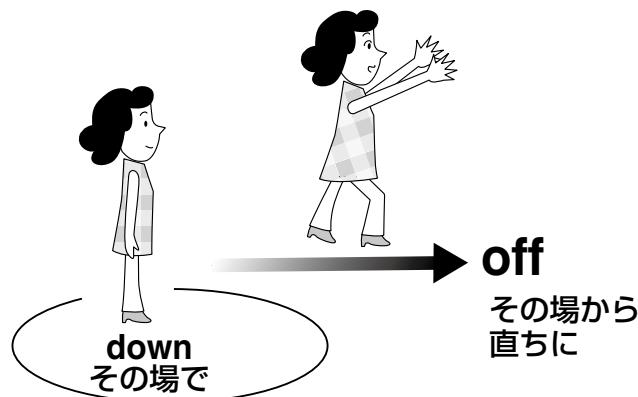
(できるだけ早く借金は完済した方がいいよ)

また、

Don't put off till tomorrow what you can do today.

(今日やれることを明日までのばすな)

という有名な諺があり、ここでもoffが使われています。ここでの**put off**は「延期する、のばす」を表しますが、「その場」、つまり「今やれること」という「今の時を中心にはばす(=時間・日をずらす)」ことを表しているのでoffを用いているのです。



これに対し、downには「やり始める」という意味がありません。downは「その場」「今いるところ」を表しますが、あくまで静的な意味においてです。

ところが、そこから行動を起こそうとする場合の「その場で」「その位置から」「直ちに(行動を起こす)」をoffで表すのです。

例えば、right offは「今いるところで直ちに」の意味を強めます。

You should start **right off** to get there in time.

(遅れないようにそこへ行くには、すぐに出かけた方がよい)

このrightは「ちょうど、まさに」を表し、offやawayなどの副詞や前置詞を強めるときに用います。

参考までに、このようなrightを下にまとめてみましょう。

right +副詞 / 前置詞	例 文
right next to ~ (～のすぐとなりに)	Jimmy is sitting right next to Tom. (ジミーならトムのちょうど隣に座っているよ)
right across ~ (まさに～を渡ったところに)	The hotel is right across the river. (そのホテルはその川のすぐ向こう側だ)
right over there (ちょうど向こうに)	You can see him right over there . (ちょうど向こう側に彼がいる)
right up there (ちょうど向こうの方に)	I will take you right up there . (ちょうど向こうまで連れていってあげるよ)
right down here (まさにここに)	Please come right down here . (ここまで降りておいでよ)

「副詞」として用いられるrightの本来の意味は「思っていることと行動や言動が合致して」です。ここから「ちょうど」や「まさに」という意味が出てくるのです。